

こんにちは 日本共産党 綾部市会議員の

つきがしら久美子です

大島町梶長16の12
ファックス 42-9558
携帯 090 2285 8627
メールアドレス
kumiko@xi.boj.jp
ブログ
http://kumiko.boj.jp
ホームページ
http://www.jcp-ayabe.jp/
日本共産党綾部市会議員
団のホームページです

議会報告

同時に配布する
議員団ニュース
もご覧下さい。

【私の質問】

国民健康保険の広域化（京都府を一つにする）はやめるべき

- ・ 国保法の改正と今後の方向
- ・ 社会保障としての国保を維持すべき
- ・ TPPに参加すると食の安全は守れない
- ・ 食品添加物・残留農薬・BSE問題が深刻になる
- ・ 地産地消と学校での食育を進めること
- ・ ドクターヘリの空域にオスプレイ飛行訓練は危険

国保料の値上げにつながる広域化に反対

「社会保障と税の一体改革」の一つとして「国保の都道府県単位」を実行する改正「国保法」が成立しました。綾部市の状況と京都府の方向は

綾部市の国保料は平成22年度から毎年引き上げられ、合計38.7%もの値上げになっています。

京都府の方向は、平成27年から広域化を取り入れ、平成30年には完全実施する方向です。すでに国保料の徴収を重要課題とし、滞納は府市民税と同様に「京都税機構」送りになり、市国保の相談活動が後退しています。



写真は記事とは関係ありません

なぜ国保一元化なのか
* 京都府の資料を見ると
国保加入者は、無職の方や高齢者が多く、保険料の負担能力が低い一方で、（使う）医療費は高い傾向にあり、市町村国保財政は危機的。また、市町村によって保険料の差も大きい。今後の高齢化で国保財政はさらに厳しくなる。などから国費の投入を求めながら一元化を行う。

とあります。

財政難の市町村国保をまとめても

問題解決はしない
国保の広域化は、後期高齢者医療保険と同様、仮に「不均一保険料」が設定されても、

「不均一保険料」が設定されても、
TPP参加で食の安全は崩れる

食品添加物、残留農薬、BSE、遺伝子組み換え食品など、現状でも食に対する不安があります。

TPP（環太平洋経済連携協定）参加は、関税の完全撤廃が原則であり、今以上に輸入食品が流通します。

BSE対策でも、アメリカの要求で生後2030ヶ月以下午の輸入へ緩和されます（今年2月から）。米韓FTAで

食は生命につながる大本で、地産地消が基本です。学校給食でも、地産地消を前提に提供されており、TPP参加はそれを崩すものです。

市の答弁
地産地消については今後とも推進していく。TPP参加については、新政権のもと明らかにってくるだろう。

保険料は毎年引き上げられるでしょう。

国保法では「国保は社会保障制度」である市の答弁は

社会保障制度の位置づけはあるが、互助制度の一面も強いと認識している。国保の一元化は、財政基盤の安定から避けて通れない。

搦頭
国庫負担が減ったことが財政難の原因。増やすめどがない中、国保一元化を進めると、保険料の大幅値上げ、滞納の増加、国保財政の悪化、健康が守れない、と悪循環になる。

日本共産党
参院選 京都選挙区
倉林あき子さん
を紹介します



倉林明子さんは福島県西会津生まれの52歳。障害がある兄弟のことを思って、「親にお金の心配をかけたくない」と、高校時代からバイトをし、学費が少なく進学できた京都市立看護学校を選びました。

11年間の看護師時代には、労働組合の役員や看護協会の役員も務めました。

京都府会議員1期、京都市会議員を5期務め、京都市会議員団の幹事長をしています。

今度の参議院選挙では、消費税増税中止・原発ゼロ・TPP参加反対・若者に仕事を・憲法を守る、など、国民の声をブレずに国会に届けられる候補者です。



オスプレイ

アメリカ海兵隊の新型輸送機オスプレイの低空飛行訓練が、沖縄県だけでなく日本列島全域で展開されようとしています。6つのルートが公表されていますが、加えて「ブラウンルート」という山口県から兵庫県生野ダムを飛行するルートも明らかになっています。

ドクターヘリの空域にオスプレイ飛行は危険

オスプレイは許可された空域はどこでも飛行する。(どこの上空をいつ通るのか外務省・防衛省も把握していない)
・航空法に反する150m以下の低空飛行訓練を想定している。



・レーダーの指示を受けられない「有視界飛行」で、普通のヘリの2倍の速さ。

綾部でのドクターヘリ利用は、平成23年に26件。もし事故があれば、京都市からのヘリで対応するが、ドクターヘリではない。オスプレイ配備反対の表明をするべき

京田辺市や吹田市など全



中筋小学校から飛び立つドクターヘリ

国146自治体で反対の声を上げている。綾部市の答弁は京都府に確認したが6つのルート以外の新たな情報はない。今後、京都府とも連携して安全対応をしていきたい。

新婦人の会綾部支部が提出

「妊婦健診と、ヒブ・小児用肺炎球菌・子宮頸がん予防ワクチンの公費接種継続を求める請願」採択し意見書提出しました



2012年度で終了する妊婦健診助成と、上記3ワクチン公費接種は、2013年度の国予算から一般財源化される予定です。しかし「一般財源化」では財源があいまいで、市町村負担が増えることも考えられ事業が後退する恐れもあります。

長年、新婦人の会としても要求してきた内容であり 国が公費助成を続けるよう、議会として意見書を上げることを求めた請願です。

産業厚生環境委員会でこんなことが・・・

請願は委員会で審査してから採決をとり、その後「意見書案」を作成するのが通例ですが、冒頭から委員長が「意見書案」を提案し、請願審査せずに意見書提出を求めてきました。

共産党はこのルール違反を指摘し、通常の請願処理を確認しました。

この問題点は、委員会で審議することを全会一致で決めたにもかかわらず無視をした。請願の審議を優先して行うルールになっている。公平中立の立場をとらなければならない委員長が、請願にかかわる意見書を初めに提案したことです。

ちよつと一言

総選挙結果は、思ったように議席が伸びず、マイナス一議席で残念。3年前の政権交代は、自民・公明政治の行き詰まりであったはずなのに、これほど議席回復できるのかと疑問に思いました。

よく見ると、

自民党は前回選挙時1881万票から今回は1662万票へ減り、自民党自身も「政策や実績が評価されたのではない(小選挙区制のおかげ)」と認めています。民主党も政権交代時から想像もつけないほど落ち込みました。

他方、維新の会が政党として急浮上し、民主票や無党派層を取り込んだようです。綾部でも共産党より多くの票を取っています。しかし、この綾部で「維新の会」の選挙活動は見えませんでした。改めてマスコミの力の大きさを痛感します。「小泉旋風」もそうでしたが、選挙前に「橋下維新の会」がテレビに映らない日はありませんでした。

政治を大きく見れば「激動の時代」であり、その中でブレずに地に足つけて、「本当に幸せに暮らせる世の中」をめざし、パトンをつなぐ役目を果たしたいと決意しています。



大島町内 府道沿いにミラー設置を... 「しまむら」西の市道から府道に出る時、歩道を利用する自転車や歩行者が分かりづらく事故もあつたため設置依頼しました。

自動的に票は回ってこないと思省も含めて感じています。安倍内閣の経済政策(アベノミクス)が出されましたが小泉時代の繰り返りで、大企業は栄えても国民の生活は苦しくなる一方。「慰安婦」問題への発言や憲法改定の動きには、国際的にも批判の声が上がっています。